

道徳だより 第2号

教材名「ぼくのしごと」

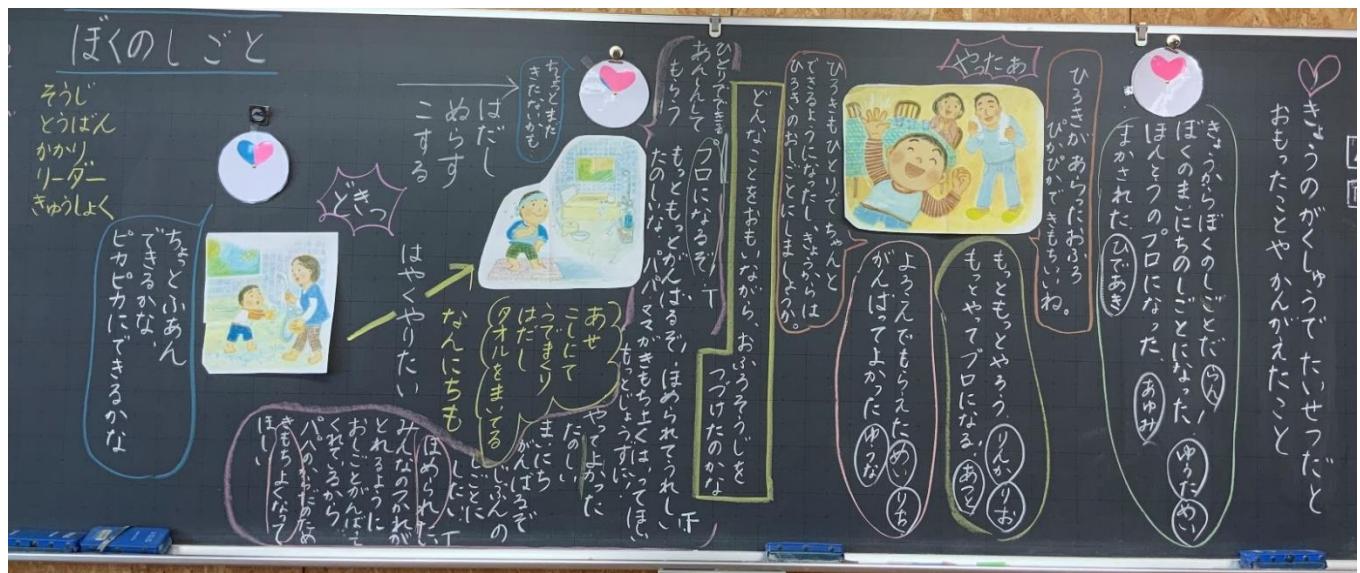
ねらい：働くことのよさを知り、進んでみんなのために働くとする心情を育てる。

〈教材の内容について〉

主人公が、お風呂掃除を通して、働くことのよさや大切さを感じるというお話です。

〈本時の様子について〉

はじめに自分たちの学級での仕事について話し合いました。掃除、当番、係などいろいろな仕事ができました。普段から、みんなのために働くことを楽しいと感じている子が多く、主人公に自分を重ねて考えることができていました。仕事のコツをつかんでいくことで自分の成長を感じたり、両親に褒められることで役に立つ喜びを感じたりする主人公の気持ちを捉えやすくするために、「心メーター」という道具を使って考えていきました。今回は主人公の仕事に対する自信度をピンク（自信あり）と青（自信なし）で表現しました。「最初はできるかどうか不安もあったから、半々かな。」「でも楽しみだなとも思っていたからピンクの方が多いかな。」など考えていました。



「ひらきくんはどんなことを思いながら、お風呂掃除をつづけたのかな？」

- ・褒められて嬉しかったから頑張ろう。・お風呂掃除のプロになるぞ。・楽しいな。
- ・仕事から帰ってきたお父さんに気持ちいいってほしいな。
- ・自分の仕事にしたいから、頑張るぞ。・みんなの疲れをとりたいな。などたくさんの考えが出ました。

そしてこの時の「心メーター」は、ほとんどがピンク（自信あり）で、ちょっとだけ青（自信なし）じゃないかなということでした。理由は、「もしかしたらまだちょっと汚いところが残っているかもしれないから少し自信がない。」だそうです。思わず「なるほど。」と感心してしまいました。だから、最後に両親に褒められたとき、「やったあ」と叫んでしまうほど、嬉しかったのだと私も納得しました。

最後に今日の学習で大切なことや考えたことを聞きました。

「今日からたくさん仕事がしたい。」「私も初めはドキドキしたけど、今はもうできるようになったよ。」「主人公のように疲れても大変でも頑張ってやるとプロになれるから、僕も頑張りたい。」など、様々なことを感じたようです。今自分が行っている仕事が、みんなの役にたっていることや、自分の成長につながっていることなどを、これからもたくさん感じて、進んでみんなのために働くとする気持ちを持ち続けてほしいなと思っています。お子さんがお家のお仕事を頑張っていたら、たくさん褒めてあげてくださいね。

道徳便り

学校で取り組んでいる道徳教育について紹介します。

2年生は、親切・思いやりに関する道徳の授業で、親切の良さについて考えました。

くまくんは、新しいかばんに、ぴかぴ

かのどんぐりの宝物をいっぺいつめて歩いていました。

その時、くまくんは穴に落ちて泣いているねずみの子の声に気付きます。ねず

みの子をかかえて助けようとするくまくんですが、片手ではどうしてもうまく登れません。ねずみの子をかばんに入れあげれば両手が使えて登れるけれど、かばんには宝物がいっぱい・・・。

しかし、くまくんは、

「ええい。」

と、かばんの中身を捨て、ねずみの子を助けます。

助けてもらったねずみの子は、くまくんが捨てたどんぐりをひとつ拾って、最後にくまくんに渡します。

くまくんにとって、それはたつた一つだけれど、特別な宝物になつた、というお話をでした。

親切・思いやり

- くまくんはねずみくんをたすけられてうれしい気持ちだつたし、ねずみくんもくまくんにたすけてもらつてありがとうと思つたと思います。ぼくもこまつている人がいたらたすけたいです。

- くまくんはじ分がもつてゐるたからものをすべて、ねずみくんをたすけるのがすごい。ねずみくんがすてたどんぐりを一このこしておいてくれたからうれしかつたんだね。ねずみくんがあんしんしていたのでよかつたです。

- しんせつにすればするほど、じ分もいい気持ちになれるし、たすけてもらった人もえ顔になれるので、しんせつというのはたすけておわりじゃなく「え顔」になれるのが分かりました。
- たつた一つでもたからものというのはなぜかというと、ねずみくんのこころがこもつてゐるからです。

この教材文を通して、子どもたちは、「親切な行動は、親切にされた人だけでなく、親切にした方も嬉しい気持ちにする」ということに気が付いていました。

親切・思いやりについては、この教材文だけでなく、これからも、いくつかの教材文を用いて、色々な方向からその良さや大切さを考えしていく予定です。



道徳便り

学校で取り組んでいる道徳教育について紹介します。



「正しいと分かっていても、その通りに行動できない気持ち」
にも触れながら考えを深めていきました。悩む正二に、子どもたちなりのアドバイスを考えました。

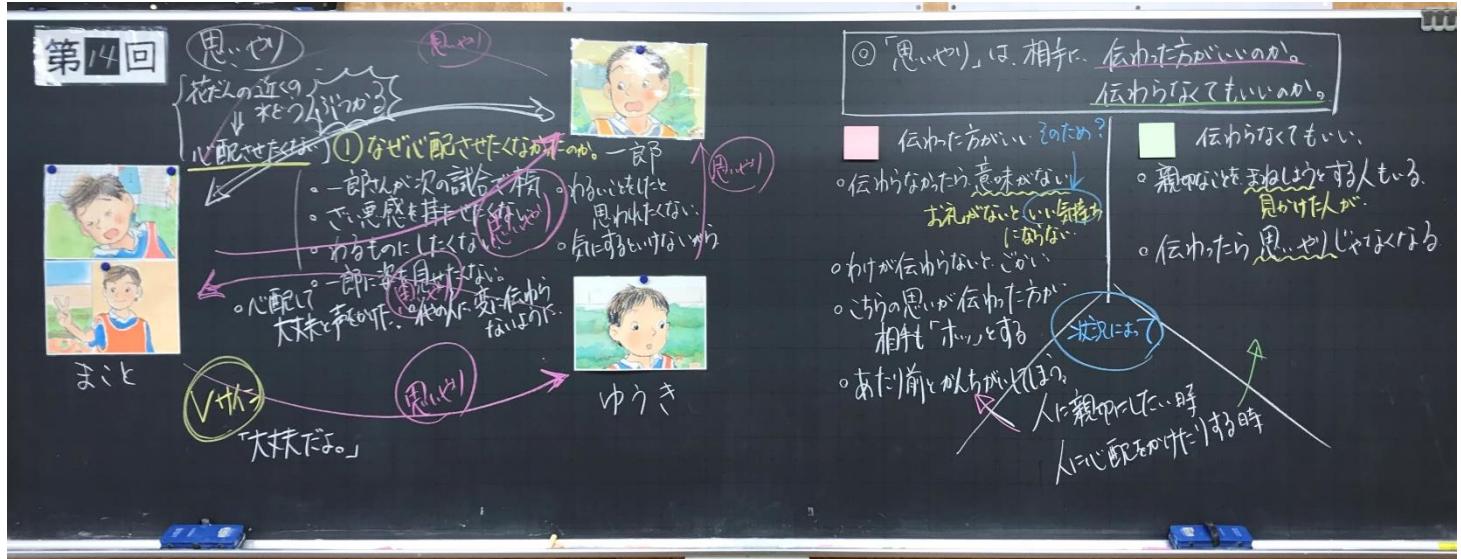
- ・悪魔の声を信じて、それが現れる方がもっと辛いよ。僕は一度、悪魔の声を信じてしまって、ずっとモヤモヤが続いて後悔しているから、正二さんは天使の声を信じてね。
- ・私も友だちの物を壊してそのままにしておいたら、正二さんみたいに心がモヤモヤしていました。だけどやっぱり正直が一番だと思うよ。正直に言ったら、先生や次郎君、クラスのみんなも許してくれると思うよ。
- ・正二さんは、絶対正直に話すべきです。その理由は、私にもこんな経験があるからです。私は、妹のおもちゃを壊してしまったことがあります。そして、そのことを心の中に隠していました。それからずっとモヤモヤして辛かったので、ついにお母さんに打ち明けました。すると、お母さんは怒らないで、「分かったよ。」と言ってくれました。それからは心がスッキリしました。
- ・辛いことや悲しいことは、後からやって来るんだよ。自分が悪かったことはちゃんと言わないと、苦しくなるんだよ。それで本当にいいのか、しっかり自分と相談してね。
- ・やっぱり早く謝った方がいいと思うけど、怒られるのも嫌だと思います。だけど、嘘をついた方がもっと大変なこと(次郎君が怒られてしまうなど)になるかもしれないのに、正直に謝った方がいいと思います。



道徳便り No. 2

学校で取り組んでいる道徳教育について紹介します。

4年生は道徳の授業で、相手の置かれている状況や気持ちを考え、思いやりを持って行動することの大切さについて考えました。



- 状況によって変わる「思いやり」や、伝わってほしい「思いやり」、伝わらなくてもいい「思いやり」があることが分かりました。(R)
- 私は、「思いやり」について、はじめてこんなにたくさん考えました。今回、発表はできなかつたけれど、自分以外にみんなの意見がすごかったです。(O)
- ぼくは、今まで「思いやり」が伝わった方がいいか、伝わらなくていいかについてこんなに深く考えたことはなかつたので、初めての体験でした。(S)
- 私は、思いやりに種類があることにびっくりしました。はじめは、「伝わつた方がいい」と思つたけれど、みんなと話し合つて「伝わらなくてもいい」場合があることが分かりました。(Y)
- 私は、最初「伝わらなくていい」と思つていましたが、「状況によつて変わる」という意見が出たとき「たしかになあ」と思いました。(M)
- ぼくは、思いやりについての考えが変わりました。初めは、ただ伝わればいいと思っていましたが、授業をしていろんな意味があることに気付きました。(J)
- 私は、伝わつた方がいいと思つていたけれど、「状況によつて変わる」の意見に納得しました。これから、思いやりをいっぱいしたいと思えるようになりました。(I)

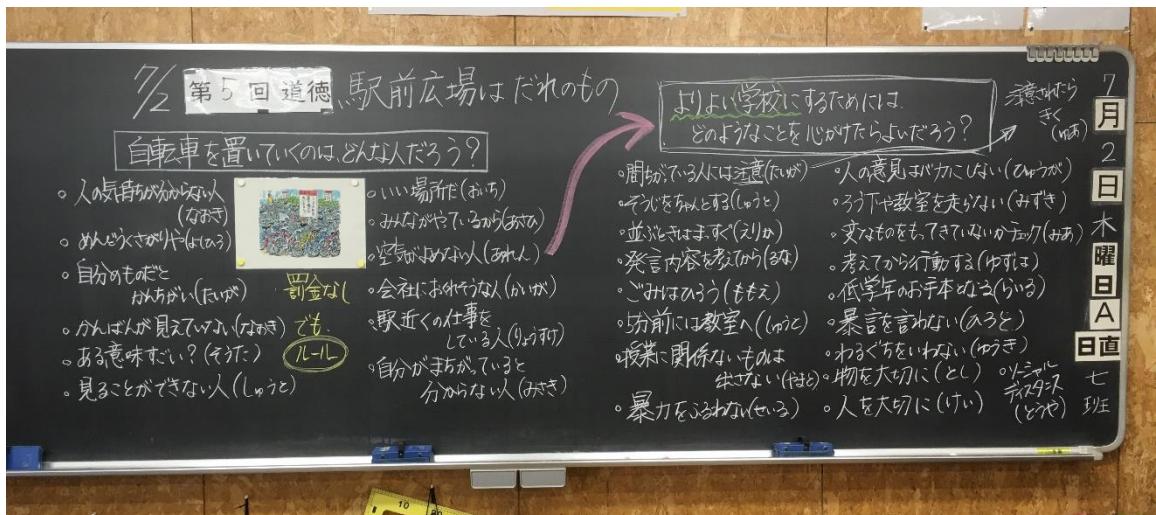
サッカーチームでの練習中、主人公のゆうきは、けがをした6年生のまことさんが、ぶつかった相手を気遣い、人に気づかれないようにはがの手当をする様子を見かけます。登場人物の気持ちに寄り添いながら、思いやりについて考えました。そして、「思いやりは、相手に伝わつた方がいいのか、伝わらなくてもいいのか」について話し合いました。



道徳便り

学校で取り組んでいる道徳教育について紹介します。

5年生は道徳の授業で「公共の場所を大切に使うこと」について考えました。



- 自分は一つずつルールを守っていこうと思いました。
- ルールを全部、完ぺきに守っていくことは難しいと思うけど、少しでも多く守れるように心がけたいと思いました。
- 自分勝手な行動をしていると他の人が迷惑することがあることが分かりました。自分の行動を振り返り返りたいと思います。
- みんなが安全・安心に生活できるようにするためにきまりやルールがあることに気がつきました。これから意識して守っていきたいと思います。
- 学校のきまりを守って、低学年のお手本になる高学年になりました。
- これまでなんのためにルールがあるのかあまり考えたことがなかったけど、今日の授業でそれが分かりました。

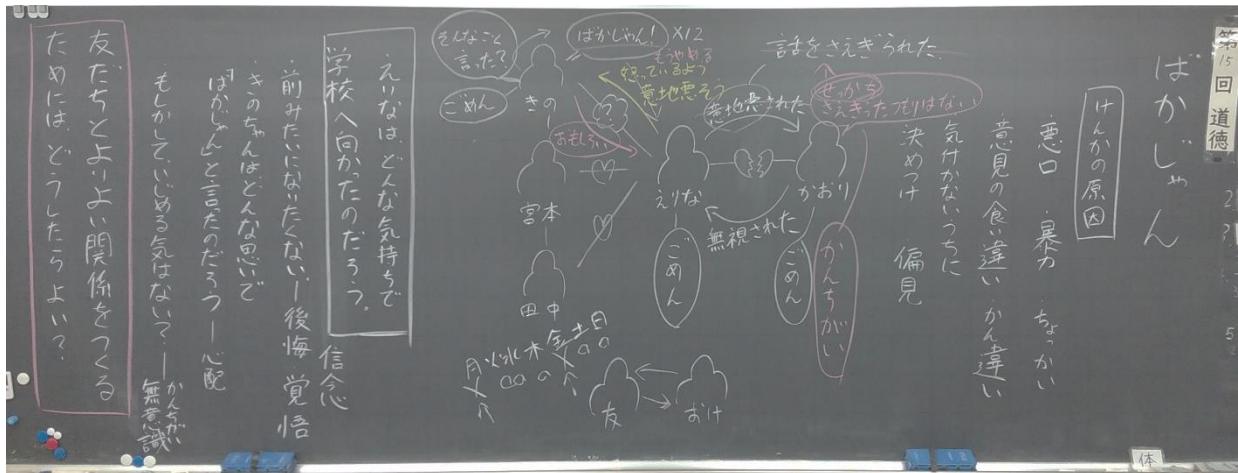


駅前に放置された多くの自転車。それを見かけた児童が自転車を置いていく側、迷惑と思う側の両方の立場を考えます。何のために、だれのためにきまりやルールがあるのか考えました。

道徳便り

学校で取り組んでいる道徳教育について紹介します。

6年生は道徳の授業で友情・信頼について考えました。友情を深めるには、どうしたら…?



友情・信頼



恵理菜は、「きのちゃんに「ばかじゃん!」と言われたことがきっかけで、不安になってしまいます。友だちとの友情を深めるには、普段からどのようなことに気をつけたらよいのでしょうか。

- 言葉づかいに気を付ける。(S)
- 勘違いしないように、言われたことを理解したり、相手のことを考えたりする。(U)
- 自分の素の性格を見せる。時には我慢をすることも大事。(S)
- 友達の話を最後まで聞く。友達の言っていることを理解する。(S)
- だめなことはだめ、いやなことはいや、と、きちんと言う。(K)
- 気にし過ぎない。(Y)
- 友だちにとつて何がいやなことなのかを考えて行動する。(N)
- 友だちのことをよく知る。自分が言われて傷つくことを言わない。(H)
- 自分が少しでも不満に思つたらすぐに話す。そして、みんなが納得できる答えを見つける。(Y)
- 相手に誤解を与えるような言葉づかいや行動をしないようにする。(U)